



オガタマノキ [招霊の木]

5本の樹

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 モクレン科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

花は小振りだが、花弁状の花被片が12枚ほどあり、とても良い香りがする。日本に自生するモクレン科のなかでは唯一の常緑樹。樹名は「招霊」と書き、サカキ同様に神事に利用されてきた。そのため、社寺境内によく植えられている。関東以西の温暖地の沿岸林に自生する。



Memo

天鈿女命 (アマノウズメ) が天照大神が隠れた天岩戸の前で、オガタマの小枝を手に舞った話がある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期		■											
果 実										■			
紅 葉													
施 肥		■ (痩せ地でなければ不要)											
剪 定						■ (花後早めに)							

★：花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)

好みの環境		
日当り	陽	○ ○ 陰
土 壤	乾	○ 湿
寒 さ	強	○ 弱
暑 さ	強	○ 弱
潮 風	強	○ 弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○ ○						○

ポイント


幼樹は日陰で生長する。肥沃地を好み大木になる。強剪定に耐えるが、枝抜きにて自然樹形を生かしたい。移植を嫌うので植付場所の選定は慎重にしたい。成木の移植は困難。


剪定

生長は遅いが、かなりの大木になるため、剪定して樹高を抑えることがポイント。剪定は、花後早めにするるとよい。初夏には早くも来春の花芽をつけるため、遅れると花芽を切ることになる。

病虫害

病虫害は少ない。

呼べる鳥  シロハラ・ツグミ

呼べる蝶  アオスジアゲハ・ミカドアゲハ